

# 令和の時代へ

令和元年5月1日

廿日市市立廿日市中学校

校長 枝 廣 泰 知



時代は、「平成」から「令和」へ移り変わりました。

この「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味があります。出典は万葉集であり、

「梅の花のように、日本の人々が明日への希望を咲かせる国でありますように」という願いが込められているということです。

桜、梅、桃、李（すもも）を示す、桜梅桃李（おうばいとうり）という言葉があります。

「人それぞれが、人生に花を咲かせ、実を結ぶことができる」という意味です。

廿日市中学校の生徒には、自分らしく個性を磨き、様々な人と関わりながら学び、自分の考えを持ち、将来の進路を広げて欲しいと思います。

また、思いやりと自制心を大切にすることを意識して、人に対して優しく、将来、社会で活躍できるような力をつけてもらいたいと考えています。

ますます進む高齢化や急速な ICT 情報通信技術の発展、人工知能 AI の導入など変化の激しい社会が生徒を待ち受けています。

私たち教職員は、生徒の力を最大限伸ばすよう取り組んでまいります。

どうぞ、「令和」の時代となっても、保護者や地域の皆様には、学校の方針をご理解いただき、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。